



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ⑦

## これ以上の格差はつけるな！ ベアは全社員一律にせよ！ ベア配分交渉第1回団交

本部は3月30日、2023年賃金引き上げ（ベア）に伴う配分交渉の第1回団体交渉を開催しました。本部は3月28日、2023年度新賃金配分に関する申し入れ（『申第19号』）を提出し、基本給引き上げ分の1,000円は、全組合員（専任社員を含む）一律に、全てを基本給に配分することを要求しました。

会社は「貴側の一律の要求は承ったが、新人事・賃金制度の趣旨に踏まえた回答もあり得る」との考えを示しました。

本部は「物価高騰で全社員が苦勞している。わずか1,000円のベアにまで格差をつけることは、低額の社員は更に厳しい生活を余儀なくされている。会社は、調整手当の件で地域間格差を是正すると言った。等級別の割り振りを考えているとしたら、これこそ格差はやめるべきだ」と釘を刺しました。会社は「選択肢の一つと考えている」と答えました。

また、専任社員について、本部は「現職から基本給が半分以下になり、非常に苦しい」と主張しました。会社は「専任社員も大事な経営資源である」と答えました。

一方、JR東海ユニオンは「整合性のある配分」を要求しました。本部は「会社が考えている整合性とは何か」と質問しましたが、会社は「何の意図かは分からない」と、お茶を濁しました。「整合性」とは、一律でないことは確かです。管理者に手厚く、若手社員には我慢をさせるような格差配分であることは間違いありません。

次回の団体交渉で配分の回答が示されますが、日程は未定です。